

令和7年度
第2回八幡浜市総合計画審議会および
第2回八幡浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会 議事概要

日時：令和7年8月26日（火）13時30分～

場所：八幡浜市 八幡浜庁舎 5階 大会議室

出席者

（策定委員名）欠席7名

前田委員、堀口委員、廣川委員、近藤委員、木村委員、大下委員、谷本委員、徳島委員、谷脇委員、菊地委員、木下委員、和田委員、小山委員、内藤委員、河野（信）委員、山崎委員、山内委員、成瀬委員

（市）菊池副市長、井上教育長、藤堂総務企画部長、宮下市民福祉部長、垣内産業建設部長、松良政策推進課および事務局

（支援業者 ジャパン総研3名）

会議次第

1 開会

2 事務局挨拶

3 議題

（1）デジタル田園都市国家構想交付金活用事業（令和6年度）の評価・検証について

（2）第2期八幡浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和6年度分）の検証について

（3）人口ビジョン改定に向けて

（4）第3次八幡浜市総合計画（素案）について

（5）その他

・地方創生臨時交付金活用事業（令和6年度）の検証報告

【資料】

・委員名簿（資料1）

・デジタル田園都市国家構想交付金活用事業（令和6年度）の評価・検証について（資料2）

・第2期総合戦略（令和6年度分）の検証（資料3）

・八幡浜市_人口ビジョン改定に向けて（資料4）

・第3次八幡浜市総合計画（素案）（資料5）

・R06 臨時交付金事業実施状況（資料6）

会議経過

- 1 開会后、事務局より挨拶
- 2 前田委員が会長、堀口委員が副会長として会議を進めた
- 3 議題（１）（２）について、事務局が資料に基づき説明を行った
- 4 議題（３）について、ジャパン総研が資料に基づき説明を行った
- 5 議題（４）（５）について、事務局が資料に基づき説明を行った
- 6 閉会

主な質疑等、議事の概要は以下の通り。

◆議題① 資料２に基づき、「デジタル田園都市国家構想交付金活用事業（令和６年度）の評価・検証」について事務局より説明。

以下、質疑応答

【木下委員】

事業についてお尋ねしますが、基本的なことでも申し訳ないのですが、この事業の評価はどこがしたんでしょうか。

【事務局】

事業の評価は担当課とも確認のうえ政策推進課が行いました。

【木下委員】

はい、ありがとうございます。相当程度効果があったということなんですが、相当程度効果があったのならば、方向性の部分ですが、拡充か継続でも改善ということにされたほうが良いのではないのでしょうか。せっかく効果があったとするのであれば。

【事務局】

「相当程度効果があった」とする事業については、現行の活動を継続していくという意味での評価としています。

【木下委員】

現行どおりやっても仕方ないかなと私は思いますが。

【前田会長】

論理的に考えると相当効果があったので、継続していき、少し効果が薄いと改善という形に変わるといことで、そのあたりは事務局の方で判断しているんだと思います。また、こうした会議の中でいろんな意見が出れば修正していくんだと思いますので、他の皆様からのご意見はありませんでしょうか。

【前田会長】

事業についてはなかなか評価が難しいところなので、なければ私の方でこの事務局評価の部分については一度預からせていただいて判断したうえで、委員の皆様にも再度お伝えできればと思いますが、いかがでしょうか。

―――異議なし―――

【前田会長】

それでは、この評価部分については、私の方で預からせていただければと思いますので、宜しくお願いします。ありがとうございました。

(会議後、指摘のあった評価について「現行(継続)」のままとすることで確認を行った。)

◆議題② 資料3に基づき、「第2期八幡浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和6年度分)の検証」について、事務局より説明。

以下、質疑応答

【山内委員】

1点、17ページの養護老人ホームのリニューアルについて評価は未着手で、今後の取り組みは、規模を定め設計(基本)の段階へ進めるとありますが、この評価はどのように考えたら良いのでしょうか。

【事務局】

老人ホームは中学校跡地プロジェクトの中で、松柏中学校のグラウンドに建設するという計画を発表しているところです。

【木下委員】

老人ホームは2箇所あるけど、2箇所を統合するということでしょうか。

【事務局】

そのとおりです。

【木下委員】

それはいつぐらいになるのでしょうか。

【事務局】

来年度に基本計画を立てる形で進めることになっています。

【木下委員】

2箇所とも耐震化になっていないのはご存知だと思いますが、できるだけスピード感をもってやらなければならないのではないかなと思います。

また、政策推進課から報告 4 つもらいましたが、防災の件についての報告がなかったかなと思いますが、あったほうがよかったのではないかなと思います。いかがでしょうか。

【前田委員】

16 ページのところに地域ぐるみの防災力強化という項目があって、防災メールの登録者数、防災士数、戸別受信機の配備数などが目標値となっています。令和 6 年度についてのデータも記載があるんですが、この他に事務局として記載しているもの以外に取り組みされていることがあればご報告頂けたらと思いますがいかがでしょうか。

【木下委員】

聞きたいのは色々防災対策をしているんですが、実際災害が起きたときに復旧・復興についてライフラインに関わる耐震化に関する部分で、さっきの老人ホームの件もそうなんですが、耐震化の進捗率が進んでいるのかという点です。

【藤堂総務企画部長】

ありがとうございます。一つは南海トラフ巨大地震が今後 30 年以内に 80%以内の確率で発生するというので、当然市としてもやるべきことを一つずつ行っているというところでは。ただ、上下水道でも建物でもハード面は財源がかかる部分ですので、少しずつ進めていく必要があります。

その中で一つは愛宕山プロジェクトを進めているところです。また、今年度からは 5 か年で事前復興計画を作成する予定です。これは学識経験者の方や市民も含めてまちぐるみで作っていかないといけないと考えています。

防災対策については、先程言いましたが、ハード面は財源に関わりますので、それを考慮しながら進めていく必要があります。もう一方で、ソフト面は津波から犠牲者を出さないよう、いかにして逃げるかということ自主防災組織の力もいただきながら市として真剣に取り組んでいきたいと考えています。

【前田会長】

ありがとうございます。ハードはなかなか時間がかかる部分だと思いますが、優先順位をつけながら進めていく必要があるかなと思います。喫緊の課題ではありますので、今後もしつ

かり取り上げていく必要があると思います。

◆議題③ 資料4に基づき、「人口ビジョンの改定」について、ジャパン総研より説明。

意見なし

◆議題④ 資料5に基づき、「第3次八幡浜市総合計画(素案)」について、事務局より説明。

以下、質疑応答

【堀口副会長】

2040年にはここに出席している方はほとんどいなくなってしまうのではないかなとおもいますが。今回の計画は前期5年、後期5年の10年の計画ですが、我々商工会議所としても会員数は入会はほとんどいなく、退会する方がどんどん増えてきています。また、これは大事なことです。事業の継続を考えていくうえで、地域性を考えたときになかなか商品に価格の転化が出来ないことが現状であります。やはり選択と集中ではないのですが、ある程度前向きな会社には市の方からバックアップすることも大事だと思いますし、日頃から「みかんと魚のまち 八幡浜」と周知していますが、みかんはふるさと納税の関係からかなりの市の税収になっていますが、その反面魚はどんどん厳しくなっています。この水産業の部分にはできるだけ、市を挙げて取り組んでいく必要があると個人的には思っています。

【前田会長】

ありがとうございます。重要度と満足度の項目があったと思いますが、水産業や商工業をどのように行っていくかは大事な問題だと思います。今、最低賃金が1,000円を越えようとしています。人材を集めるという点では有効だと思いますが、経営するうえでは重荷になると思います。人手不足をどう補っていくかという点で、産業面ではやらなければならないことが多くあるなと感じています。

また、子育てや出産を含めた環境をどう維持していくかという点で、医療体制や子育てしやすい環境をどう作っていくかということも大事だと思いますので、そのあたりを重点施策にしながら、今後も若い人達が暮らしやすい働きやすい環境をどう作っていくかは計画でも大きなテーマになると思います。もう一つは、災害の面では南海トラフを見越して、先程のお話で事前復興計画もありましたが、災害がおきた後にどのようにしてまちを復興させていくのかという議論も進んでいくのではないかなと思います。

【大下委員】

農業的な観点からいうと、八幡浜は農業のまちだと思うので、新規の農業者に向けた補助金についても3年くらいもらえるみたいなんです。そこでうまくいく人と、いかない人に

分かれていくと思うので、そこに対するサポートもしていければいいのではないかなと思います。

【前田会長】

ありがとうございます。新規就農者を確保していくうえで大事なことです。例えば3年がいいのかとかも今後考えていく必要だともいますし、支援体制を充実させることが大事です。

【山内委員】

ポートフォリオについてはどのように見たらいいのでしょうか。

【ジャパン総研】

ありがとうございます。前回会議でご説明したアンケートの中でまちの施策について重要・満足に関する設問があったかと思いますが、今回のグラフは各項目における【重要～重要でない】【満足～不満】の段階をプラス2～マイナス2の幅で点数化したものになります。例えば「重要」であれば2点、「やや重要」であれば1点、「重要でない」であれば-2点という形です。重要度・満足度それぞれを点数化し、グラフとして落としたものがお手元の素案内資料のポートフォリオになり、重要度・満足度の点数がともに低ければ図でいうと左下に配置されるような形になります。簡単ですが、説明は以上になります。

【前田会長】

ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。今回は意見シートも準備しておりますので、もし、現状意見がなくても追加であれば事務局に意見シートを提出していただけたらと思います。

※意見提出シートは9月15日が提出期限となった。

◆議題⑤ 資料6に基づき、「令和6臨時交付金事業実施状況」について、事務局より説明。

意見なし

以上